

共同通信によりますと

新型コロナウイルス対策となる

3 回目のワクチン接種について、

都道府県の県庁所在地と

政令指定都市の

合計 52 市区を対象に、

モデルナ製の状況を問うと、

半数を超える 27 市区が

有効期限を迎え、既に廃棄か

廃棄見込みであることが昨日、

共同通信の調査で分かりました。

廃棄量は合計で

73万9085回分に

上っています。

この数字には、トラブルによる

誤廃棄は含まれていません。

モデルナは52市区だけでなく

各地に配送されており、

同様の事例は他でもあると

見られます。

若年層への接種が進んでおらず、
モデルナよりファイザー製の方が

希望者が多いことが背景で

ほとんどが

廃棄抑制策に取り組む中、

扱いに苦慮する自治体が

多いようです。

(了)